

事務事業名 筑紫野市身体障害者福祉協会補助事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：224

施策：	15	障がい者福祉の充実	財務コード	01030104-03-168
基本事業：	02	地域生活支援の基盤づくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	地域生活支援事業により生活改善されている障がい者等の延べ人数 自立支援医療（精神・更生・育成）による助成を受け、経済的負担が軽減されている障がい者等の人数		担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市身体障害者福祉協会			市の障がい者福祉活動の中心的役割を担う筑紫野市身体障害者福祉協会の活動に対して補助を行うもの。 【筑紫野市身体障害者福祉協会の活動】 ・軽スポーツ教室、ボウリング、ポッチャ、フライングディスクなど ・グラウンドゴルフ大会 ・定例会議、交流会 等							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
筑紫野市身体障害者福祉協会の活動が充実・活性化し、障がい者の相互交流や社会参加をはじめとした障がい者福祉施策全般の推進が図られている。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標	
筑紫野市身体障害者福祉協会会員数		人	105	104	100	110			200	
各種事業参加者合計数		人	225	240	250	250			400	
5. コスト										
事業費		計	千円	600	600	540	540			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
一般		千円	600	600	540	540				
正職員人工数		人工	0.02	0.03	0.06					
正職員人件費		千円	156	241	503					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	756	841	1,043	540				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている		指標A<状況>会員数が低下傾向であったが横ばいになっている。 <原因>協会の会員増加への取組（広報掲載、チラシ配布など）の成果。								
どちらかといえばあがっている		指標B<状況>参加者数は増加している。 <原因>新型コロナウイルス感染症の影響で減少していたが、事業の種類を増やすなど事務局が工夫をしたため。								
あがっていない（停滞・低下）										
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	・新規会員を増やすために募集チラシを作成するなど、会員増に向けた取り組みを行っている。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）										
備考・特記事項 or 進行管理欄										
「ノーマライゼーション」と「リハビリテーション」を基本理念とし、障がい者福祉の増進を図るため、筑紫野市身体障害者福祉協会に運営の補助をすることとしている。										